

殺菌剤
ニマイバー 水和剤

農林水産省登録
第23975号

作物の病害は見逃さぬ



耐性菌にも強い2成分混合殺菌剤

ニマイバー®
水和剤

ニマイバーは住友化学(株)の登録商標

様々な
作物に



ダイズ紫斑病



アズキ灰色かび病



チャ輪斑病



キュウリ褐斑病



トマト葉かび病

(出典：大分県農林水産研究指導センター)

ニマイバー[®]

水和剤

有効成分：ジエトフェンカルブ…25.0% ベノミル…25.0%

殺菌剤分類 10, 1



特長

- ① 予防・治療のダブルの効果
- ② 耐性菌と感受性菌の同時防除が可能
- ③ 優れた耐雨性

2024年10月現在の登録内容

適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジエトフェンカルブを 含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む農薬の 総使用回数				
キャベツ	菌核病	1,000	100～300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	7回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は6回以内)				
レタス	灰色かび病			収穫14日前まで			5回以内	5回以内	5回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)			
たまねぎ				灰色腐敗病	収穫7日前まで				5回以内	8回以内 (種子粉衣は1回以内、育苗培土混和、灌注または 苗根部浸漬は合計1回以内、散布は6回以内)		
トマト	うどんこ病 灰色かび病 菌核病 葉かび病 すずかび病			収穫前日まで	3回以内		6回以内 (種子への処理は1回以内、土壌灌注は 2回以内、散布及び常温煙霧は合計5回以内)					
ミニトマト								3回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、土壌灌注は 2回以内、散布は3回以内)			
なす	黒枯病、うどんこ病 褐色斑点病、すずかび病							5回以内	4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)			
	灰色かび病 菌核病								4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)			
きゅうり	褐斑病 炭疽病								6回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)			
すいか	つる枯病、うどんこ病 炭疽病、菌核病		5回以内									
豆類 (未成熟、但し、えだまめ、さや いんげん、さやえんどうを除く)	灰色かび病 菌核病 炭疽病	1,000	100～300	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	6回以内 (種子粉衣は1回以内、灌注は2回以内、 散布は3回以内)				
えだまめ	紫斑病			収穫開始14日前まで								
さやいんげん	灰色かび病 菌核病 炭疽病			収穫前日まで	4回以内		4回以内	4回以内	5回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)			
さやえんどう								4回以内 (種子粉衣は1回以内)				
豆類 (種実、但し、だいず、 らっかせいを除く)												
だいず	褐色輪紋病			1,000～2,000	0.8		無人航空機による散布					
	紫斑病	8～16										
いちご	うどんこ病 炭疽病	1,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	散布	6回以内	9回以内 (種子粉衣は1回以内、苗根部浸漬は1回以 内、育苗期の灌注は3回以内、本圃定植後 の灌注は1回以内、散布は3回以内)				
	灰色かび病											
かき	落葉病		200～700								3回以内	6回以内
	炭疽病											
茶	新梢枯死症 褐色円星病、もち病	200～400	摘採14日前まで	1回		1回	1回					
	輪斑病							1,000～1,500				

使用上の注意

⚠ 安全使用上の注意(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせず輪番で使用してください。
- 本剤を使用した場合には、チオファネートメチルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種実への処理および塗布処理を除く。
- 本剤はエトフェンプロックス乳剤またはダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用をさけてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ・散布は各散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ・散布終了後は次の事項を守ってください。

- 1) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - 2) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
 - 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

06R10J24N29 : Z

2024年10月作成

農薬・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号